

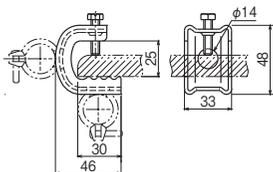
六角M6×25
(くぼみ先)



※背面部穴径はφ14

- 背面部と底面部の2箇所ので任意の角度に電線管を支持できます。
- W3-FNと組み合わせて、吊りボルトW3/8を垂直に下げられます。

W3-FN ▶ 23P



注意

- みぞ形鋼フランジ部に取り付ける場合は、パイラック用補強金具PHRC□を併用してください。落下の恐れがあります。
- 振動する場所では使用しないでください。ゆるみ、落下の恐れがあります。
- W3-FN以外のナットを使用しないでください。落下の恐れがあります。

使用上のご注意

- 六角ボルトの締付トルクは3.92N・m[40kgf]です。



仕様	ご注文品番	適合	梱包・結束			販売単位	標準価格(円)	納期区分
		フランジ厚						
E	PH1WF	9~24	20	200	—	20個	165	セ

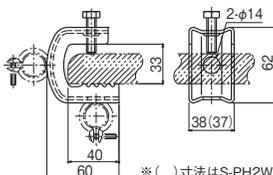
六角M8×30
(くぼみ先)



仕様詳細情報

- E仕様 ボルト(E)
- Z仕様 ボルト(S)
- S仕様 ボルト(S)

- 背面部と底面部の2箇所ので任意の角度に電線管を支持できます。



※()寸法はS-PH2W

注意

- みぞ形鋼に使用しないでください。落下の恐れがあります。
- 振動する場所では使用しないでください。ゆるみ、落下の恐れがあります。

使用上のご注意

- 六角ボルトの締付トルクは5.88N・m[60kgf・cm]です。



仕様	ご注文品番	適合	梱包・結束			販売単位	標準価格(円)	納期区分
		フランジ厚						
E	PH2W	17~32	20	120	—	20個	345	
Z	Z-PH2W		20	120	—	20個	535	
S	S-PH2W		20	—	—	20個	795	

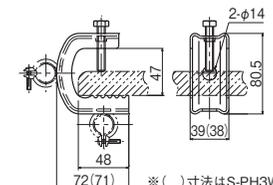
六角M8×45
(くぼみ先)



仕様詳細情報

- E仕様 ボルト(E)
- Z仕様 ボルト(S)
- S仕様 ボルト(S)

- 背面部と底面部の2箇所ので任意の角度に電線管を支持できます。



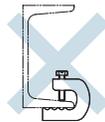
※()寸法はS-PH3W

注意

- みぞ形鋼に使用しないでください。落下の恐れがあります。
- 振動する場所では使用しないでください。ゆるみ、落下の恐れがあります。

使用上のご注意

- 六角ボルトの締付トルクは5.88N・m[60kgf・cm]です。



仕様	ご注文品番	適合	梱包・結束			販売単位	標準価格(円)	納期区分
		フランジ厚						
E	PH3W	20~45	10	50	—	1個	430	
Z	Z-PH3W		10	50	—	1個	660	
S	S-PH3W		10	—	—	1個	990	

六角M8×60
(くぼみ先)

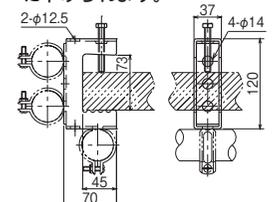


仕様詳細情報

- E仕様 ボルト(E)
- Z仕様 ボルト(S)

- 背面部と底面部の2箇所ので任意の角度に電線管を支持できます。
- 背面部に電線管25以下を3本平行に支持でき、φ12.5の穴を利用して吊りボルトを垂直に下げられます。

吊りボルト施工 ▶ 301P



注意

- みぞ形鋼に使用しないでください。落下の恐れがあります。
- 振動する場所では使用しないでください。ゆるみ、落下の恐れがあります。

使用上のご注意

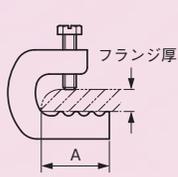
- 六角ボルトの締付トルクは5.88N・m[60kgf・cm]です。



仕様	ご注文品番	適合	梱包・結束			販売単位	標準価格(円)	納期区分
		フランジ厚						
E	PH7W	40~70	20	—	—	1個	1,500	
Z	Z-PH7W		5	—	—	1個	2,000	セ

選定表(パイラックPH□・K□)

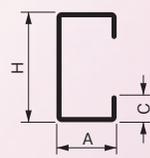
一般形鋼用 ▶ 10P～



仕様	品番	フランジ厚	A
E	PH1S	3～12	26
Z	Z-PH1S		
E	PH1	3～16	30
Z	Z-PH1		
S	S-PH1		
E	PH1F	9～24	30
E	PH1W		
Z	Z-PH1W		
S	S-PH1W	17～32	40
E	PH1WF		
E	PH2W		
Z	Z-PH2W	20～45	48
S	S-PH2W		
E	PH3W		
Z	Z-PH3W	40～70	45
S	S-PH3W		
E	PH7W		
Z	Z-PH7W		



リップみぞ形鋼用 ▶ 16P～



仕様	品番	H	A	C
E	K4L	40	40	10
E	K6AL	60	30	10
E	K10L	75～200	45～75	15～20
Z	Z-K10L			
S	S-K10L			
E	K10LS			
E	K7AP	75	45	15
E	K10AP	100	50	20
E	K12AP	120	60	20
		125	50	20
E	K15AP	150	65	20



E=電気亜鉛めっき Z=溶融亜鉛めっき仕上げ S=ステンレス鋼

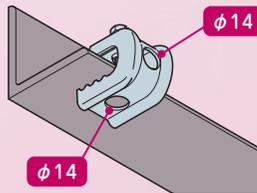
パイラック(PH□)の特長

くぼみ先構造



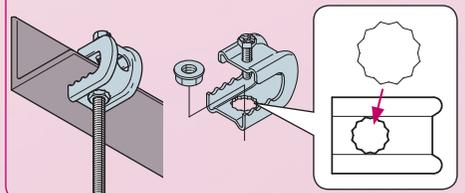
ねじの先端部をくぼませて、造管材に広く大きく、食い込むようにしてあります。引っ張り荷重に対して先端がすべりにくい特性があります。

2箇所のφ14



2箇所のφ14にパイラッククリップ等を併用して、任意の角度に電線管支持。他にも、活用方法は色々。

“星穴タイプ”のパイラック



星穴タイプのパイラックは、電線管支持はもちろん、フランジナットを併用して吊りボルト支持が可能です。

PH1F ▶ 10P

Topics

一般社団法人
建築設備技術者協会より認定を受けました。



建築設備技術遺産認定!



パイラック



アングラック

「建築設備技術遺産」とは

建築設備における空調、衛生、電気、搬送の4領域に関する技術と技術者の歴史的な足跡を示す事物・資料であり、建築設備技術の進歩、発展において重要な成果を示した建築設備技術をいいます。それらを建物に収めてきた技術を次世代に伝えるとともに、建築設備の「技術」、「役割」、「文化」を多くの方々に広めていく目的があります。

昭和27年鉄骨造での工場再建にあたり「燃えない電気工事はできないものか?」と考えて作り、多くの方に勧められて売り出したのが「アングラック」です。次いで「パイラック」が生まれました。